

# 消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404  
FAX 984-4011

火事から命を守るために

## 危険な場合はすぐに避難を

火事による負傷の主な原因は、「煙を吸った」、「火炎にあおられた」、「衣服に火が付いた」などですが、火事で死亡した人の半数以上は、逃げ遅れたことで命を落としています。自宅や外出先などで火事が起きた場合、初期消火や119番通報と併せて、避難することも重要です。

### 火事が発生したら

#### 1 火元を確認して消火できるか判断する

- どこが燃えているか確認する。
- 何がどれくらい燃えているか確認する。
- ※ 火元が確認できる場合や、火が小さい場合は消火することが可能です。火が天井に達していたり、煙や熱気で火元に近づけない場合はすぐに避難しましょう。

#### 2 周りに知らせながら消火と通報をする

- 大声で叫んで周囲に火事だと知らせる。
- 消火器や水などで消火する。
- ※ 避難口を確認しておき、火が消えない場合はすぐに避難しましょう。
- 通報は慌てず、聞かれたことを正確に答える。
- 携帯電話で通報する場合は、現在地をはっきりと伝える。



火事だー!!

#### 3 避難する

- 煙を吸わないようにタオルやハンカチなどで口と鼻を覆い、低い姿勢で逃げる。
- ※ 煙には一酸化炭素などの有毒なガスが含まれています。吸い続けると体内の酸素がなくなり、体の自由がきかなくなったり、意識がなくなったりします。



- 避難後は決して建物内に戻らない。
- 煙で逃げられない場合は、窓やベランダなど、外気のある場所に逃げて救助を求める。
- デパートやホテルなど、外出先で起きた火事の場合は誘導灯の表示を頼りに、エレベーターは使わず、階段で避難する。
- ※ 誘導灯とは、避難口や避難方向（通路）を示すための設備で、避難の目印として階段や通路などに設置しています。



▲避難口誘導灯



▲通路誘導灯

- ※ 衣服に火が付いた場合は、走り回らずその場に寝転び、転がって火を消しましょう。

